

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題フェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－14日間試験番号

3 7 4 1 (017-017)

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： フェノール
- 2) 方 式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度： 対照区, 5 ppm, 10 ppm, 20 ppm および 40 ppm
- 5) 暴露期間： 14日間
- 6) 試験水槽： 5 L容ガラスビーカー
- 7) 生 物 数： 10尾/濃度区
- 8) 照 明： 16時間明/8時間暗
- 9) エアレーション： 無し
- 10) 温 度： 23.3～25.0℃
- 11) 試験水中の被験物質の分析： H P L C 法

結 果

- 1) 14日間の最小致死濃度 = 20 ppm
  - 2) 14日間の最小作用濃度 = 20 ppm
  - 3) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) = 10 ppm
  - 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) = 20～40 ppm
  - 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) = 20～40 ppm
- (上記濃度は、全て設定値に基づく値)